

大野野百合氏による日本語訳 (ボースウィックの英訳から)

※大塚野百合『「主われを愛す」ものがたり ~ 賛美歌に隠された宝』  
教文館、2013/1/10、P.62-68 より転載したものです。

讃美歌298番歌詞

一、静まれ、わが心よ、主はあなたの味方です。  
悲嘆、苦痛の十字架を耐えしのびなさい。  
命令したり、前もって用意することは、主に任せなさい。  
どんなに状態が変わっても、主は誠実であられる。  
わが心よ、静まれ、あなたの最高の天の友は、  
いばらの道を通して、喜ばしい結果に導きたもうのです。

二、静まれ、わが心よ、神は過去にあなたを導かれたように、  
未来も導きたもうのです。  
何事もあなたの希望、信頼をくじくことがないように。  
今神秘的に見えるすべてのことが、最後には明らかになります。  
静まれ、わが心よ、嵐の風、波は主のみ声を聞きわけます。  
地上でそれらを主は静められたのです。

三、静まれ、わが心よ、最愛の友人たちがこの世を去り、  
涙の谷ですべてが暗黒に見えるとき、  
あなたは主の愛、み心をより良く知ることができます。  
主はあなたの悲しみと恐怖を取り去ってくださいます。  
静まれ、わが心よ、あなたの主イエスは、  
彼が取り去られたものを豊かに返してくださいます。

四、静まれ、わが心よ、私たちが主のみそばにはべる時は  
迫っています。  
失望、悲嘆や恐怖が去ると、悲しみは忘れ去られ、  
愛の純粋な喜びがもどってきます。  
静まれ、わが心よ、変化と涙が過ぎ去るとき、  
私たち皆は、安全で祝されて、最後に会うことができます。

五、静まれ、わが心よ、賛美の歌を、  
地上で高きにいます主に歌いはじめましょう。  
あなたの言動において、主を認めなさい。  
そうすれば主はあなたに喜びのまなざしを向けられます。  
静まれ、わが心よ、聖なる命の太陽は  
雲間からさらに輝かしく照るでしょう。

1. 安かれわがころよ  
主イエスはともにいます  
痛みもくるしみをも  
おおしくしのびたえよ  
主イエスの共にませば  
耐ええぬ悩みはなし

2. 安かれわがころよ  
なみかぜたけるときも  
父なるあまつ神の  
みむねにゆだねまつれ  
み手もて導きたもう  
望みの岸はちかし

3. 安かれわがころよ  
月日のうつろいなき  
み国はやがてきたらん  
うれいはとわに消えて  
かかやくみ顔あおぐ  
命のさちをぞ受けん